

第4回 公開講座報告

「数の基礎学習Ⅰ」

数を数える/量を数える

～スモールステップによる間違えさせない系統的な指導方法～

第4回公開講座を8月22日(土)に越谷市中央市民会館にて行いました。

今回の公開講座は「数の基礎学習Ⅰ」です。「数を数える」「量を数える」教え方を学びました。

講師の宮城武久(つばき教育研究所理事長)からは、「数の基礎学習で大切なことは、量概念の基礎的な力を養うために、いろいろな物を繰り返したくさん数えること。」「考える力をはぐくみ、まちがえさせない学習を行うために、操作の手本を課題のはじめに子どもへ必ず見せることが大切である。」との説明がありました。

具体物やタイルを数える場合、目の使い方、手の使い方、数詞の発声の仕方によって難易度が異なります。

- ①よく見て、指さし確認をしながら、声を出して数える。
- ②よく見て、指さし確認をしながら、声を出さずに数える。
- ③指を使わないで、よく見て、声を出して数える。
- ④指を使わないで、声を出さずに、よく見て目だけで数える。

演習では、これらのスモールステップによる指導方法も学びました。

以下は参加された方々の感想です。

「数える学習」に、このような細かいステップがあることを、初めて知りました。「数える学習」が不十分だと、合成分解やくり上りでつまづくこともわかりました。一番知りたかった所です。2学期の授業で取り入れたいと思います。

特別支援学校教諭

算数をどのように教えたらいのか、悩んでいました。教え方がとても具体的でよくわかりました。

少しずつできる所から、家でも行ってみたいと思います。

ありがとうございました。

就学前のお子さんの保護者の方

